

ティーチング・ポートフォリオ

大学名：大手前大学 所属：健康栄養学部 名前：安枝 明日香 作成日：2026年3月13日

1. 教育の責任

担当科目は「臨床栄養学実習Ⅰ・Ⅱ」「卒業研究」「キャリアデザインⅢ・Ⅳ」「症例実務演習」、ならびに管理栄養士国家試験対策講座である。

健康栄養学部のディプロマ・ポリシーに掲げられている「科学的根拠に基づき健康と栄養を支える専門職の育成」を念頭に置き、管理栄養士として必要な専門的知識、実践力、倫理観の修得を目指した教育に責任をもって取り組んでいる。

2. 教育の理念

大手前大学健康栄養学部のディプロマ・ポリシーに基づき、専門性と人間力を兼ね備え、社会に貢献できる管理栄養士の育成を教育理念としている。

臨床栄養学分野においては、疾患を多面的に理解し、患者一人ひとりの背景に配慮した栄養管理を実践できる能力の修得を重視している。あわせて、医療職として求められる倫理観やコミュニケーション能力の育成を重要な教育目標としている。

自身の専門である臨床栄養学、ならびにがん、炎症性腸疾患、腸内細菌叢、腸管免疫に関する研究知見を教育に反映させ、最新のエビデンスに基づいて考察する姿勢を養うことを大切にしている。

3. 教育の方法

講義科目では、教科書的知識の整理に加え、実際の症例や診療ガイドラインを用いた説明を行い、臨床現場を想定した理解を促している。

実習科目においては、座学に先立って調理実習や技能実習を行うなど、実践を通して学ぶ機会を重視し、知識と技術の結び付きを意識した指導を行っている。また、課題に関しては学生の記憶に新しい1週間以内で返却し、改善ポイントを明確に示すとともに、出来栄について可視化できるようにしている。

また、症例実務演習など病院就職を念頭に置いた選択科目では、実症例の病態を踏まえた演習を通じ、臨床栄養管理の思考プロセスを身に付けられるよう工夫している。

卒業研究では、研究倫理、研究計画の立案、データの解釈および考察方法を段階的に指導し、科学的思考力と課題解決能力の育成に努めている。

国家試験対策講座では、学生の到達度を確認しながら反復学習を行い、理解度に応じたきめ細かな支援を行っている。

4. 教育の成果

学生からは、臨床現場を想定した説明により理解が深まったとの評価を得ている。

実習科目においては、自ら考え実行する力や、他者と協働して課題に取り組む姿勢が養われており、管理栄養士としての自覚や主体性の形成につながっている。

また、レポート課題においては、評価基準や到達度を学生に可視化することで、自身の到達レベルを客観的に把握できるよう工夫している。その結果、学生間で「より質の高いレポートを目指そう」という意識が共有され、クラス全体として学修への意欲や士気の向上が見られた。

これらの学修成果は、実習後の学外実習においても評価され、また管理栄養士としての基礎的能力の形成に加え、反復学習による理解の定着や国家試験への対応力向上に結び付いていると考えている。

5. 改善への努力と今後の目標

学生の意見や学修状況を踏まえ、授業内容や指導方法について継続的な見直しと改善を行っている。今後は、臨床栄養学教育を通じて、管理栄養士として傷病者の栄養管理に関心を持ち、臨床分野でのキャリア形成を目指す学生の育成に一層力を入れていきたい。

ティーチング・ポートフォリオ

大学名：大手前大学 所属：健康栄養学部 名前：安枝 明日香 作成日：2026年3月13日

あわせて、エビデンスに基づく栄養管理を実践できる管理栄養士の育成を目標とし、教育内容のさらなる充実を図っていく。

【添付資料】